

STBC-SRⅡ 杭工法 (場所打ち鋼管コンクリート杭)

STBC-SRⅡ 杭工法は、内面にコンクリートとの一体性に優れた溶接成型突起付き鋼管を適用する場所打ち鋼管コンクリート杭です。鋼管とコンクリートとの一体構造により、地震時の安全性と経済性を向上させることができます。本工法は、H23年10月に(財)日本建築センターの一般評定を取得しております。

構造

鋼管コンクリート部、鉄筋コンクリート部から構成される場所打ち杭です。鋼管コンクリート部の構造は、溶接成型突起付き鋼管を用いた鋼管コンクリート構造または鋼管鉄筋コンクリート構造となっています。

特長

- 優れた経済性
鋼管の上下もしくは下端のみに設計条件に応じた条数の突起を設ける溶接成型突起付き鋼管を用いることにより、経済性に優れた場所打ち鋼管コンクリート杭の構築が可能です。
- 確かな耐震性能
鋼管とコンクリートの一体性に優れた溶接成型突起付き鋼管の適用により、鋼管コンクリート構造としての曲げ耐力・せん断耐力を確保し、信頼性の高い杭体を提供します。
- 環境に優しい
杭頭拡大が不要なため、排出残土が低減される環境に優しい工法です。

仕様

規格：JIS A 5525に定めるSKK400、SKK490

外径：φ800～2500mm

板厚：t9mm～25mm

詳細は溶接成型突起付き鋼管を御覧下さい。

なお、コンクリート設計基準強度は18～45N/mm²に対応しています。

